

PCT news letter vol.8

Palliative Care Team:緩和ケア委員会からのお知らせ



あけましておめでとうござります！

上飯田第一病院緩和ケアチーム（PCT）の活動をお伝えするレター、今回は昨年12月22日に行ったクリスマスコンサートの話題と、今年の方針についてです。患者さんに喜んでいただけたらと企画した昨年6月の第一回青空コンサートでは約130名もの来場があり、「上手ではないが味があってよかった」「ぜひまたやって」などのたくさんの励ましの声をいただきましたので、12月には満を期してクリスマスコンサートを開催しました。

楽器経験者の有志が集まったジャズバンド「上飯田スイングガールズ&ボーイズ」はドラム、ベース、オーボエ他新メンバーを加えて心強い構成になり、さらに今回は曲数も絞ってメリハリある演奏をキメました。新規結成ハンドベル隊「ハッピー☆リハビリ」は風邪でダウンしたメンバーの代打が前日に最終決定という荒業ながら、笑いもしっかり演出し、美しい音色を響かせました。PCTメンバーに合唱や弾き語りの経験者を加えて人数も増えた「PCTエコーズ」は、音域の広い難曲「夜空ノムコウ」に苦戦、キムタクの巨大うちわを振る熱烈なファン??の応援のおかげもあり笑い涙を運びました。華やかなカクテル・ショーも会場を沸かせました。そして何より嬉しかったのは、今回患者さん代表として「**熱い男**」つるぎ氏がハーモニカで共演していただいたことです。現在も闘病中の身でありながらみなさんを勇気づけたいというまさに男気に溢れた語りが、参加者すべてに熱いものを届けてくれました。客層?を意識した選曲と見事な演奏に、会場からはあわせて口ずさむ声やハミングも聞こえました。最後は出演者・参加者全員で2曲を完成させ、忘れられないひとときとなりました。

さてコンサート2回成功、アンケートでも「**ぜひまた続けて**」の回答がほとんどなのはよかったのですが、協力者が50名以上にふくれあがった集団となればプロデューサーが個々とゆっくり話したり負担を分け合ったりする余裕を失い、一人で企画し批判も一人で受けて、みんなの気持ちが読めなくなってきておりました。音楽を楽しむ以外にもたくさんの手間がかかるイベントを、一緒に作り上げたいという気持ちがみ



んなにあるんだろうか?積極的に動く少人数だけに熱意も負担も偏ってないだろうか?・立ちすくんでいたところ、何人かのメンバーが自分の思いを伝えてくれました。また協力者側に配布した「裏」アンケートは「解散総選挙」のつもりでしたが、多くのメンバーが「**コンサートはあったほうがいい、忙しいけれどできる部分で協力したい**」という回答を寄せてくれました。もちろん、時間を割くのが難しい人もいり、歌は苦手だけど手伝いはしますとか、楽器は得意だから音楽だけで参加したいとか、意見はそれぞれ。でもみんなそのままでいい、これは緩和ケアの考え方の基本でもありますね。いろいろな人の考え方を知った上で、それでも言いたいことは・

やっぱりまた一緒に、いやもっとみんなで一緒に、活動を作り上げていきたい。人は人の中で生きるもの・人の中で悩み、人に教わる。人と共に生き、誰かのために、と何か自分の可能性に挑戦してみるところにこそ自らの喜びも見つかるのでは・そんなことに気付いた年末でした。さらにPCT代表としては、緩和ケアということばが「初耳だ」の回答が多かったことを受け、今後もイベントやレターなどさまざまな機会を利用して、「**がんと診断されたとき、ひとりで悩まないで！心の悩み、つらい症状は私たちに相談してみてください！**」というメッセージを発信し続けなければと思っています。次回は青空コンサート実行委員会を結成し、楽器紹介コーナーや緩和ケアミニ講座など、楽しくて知識も増えるイベントにできればと思っていますのでお楽しみに！**緩和ケアやPCTに関するお問い合わせはお気軽に外科外来までお電話ください。**それでは今年もよろしくお願いたします。



🎵 アンケート結果より（原文のまま引用しています）

Q. 今日のコンサートはいかがだったでしょうか？

・久々にクリスマスソングをきき青春時代を思い起してくださいました
・心がはずみました 若返ります お父さんの為にもほんとうに良かったと思います

・少し元気が出て前向きに物事を考えさせて頂けるきっかけを頂き 明日より 今日も一日 今日も一日と 今日の思い出を大切にさせていただきます

・かえうたは、勇気づけられました。・つらいことがあっても、ほんの一瞬このようなひとときがあると救われる人がきつというはずだと思いました

・父もこの日を心待ちにしていたのが分かるし、当日も朝から決して体調は良くなかったのですが、看護師の方や緩和ケアチームの方が心配して声をかけてくれたのをはげみに最後まで素敵なコンサートを見れたのを喜んでいました。

・まだまだ通院が続きます 時々落ち込むこともありますが 楽しい時間を過ごすことができました
・何年も付き添いで出かけることもなかったがコンサートを聞いて大へん 楽しかった
・主人も体が良くなると思います

・しっばいした人や、かん者さんのハーモニカ 私の母が、ハーモニカ大好きだったことを思い出して涙が出ました ほんとうにほんとうによかったです
・患者さんも一生懸命ハーモニカを吹いておられ私も病気に負けず頑張らなくてはと思いました

・病院での数時間ですが 楽しく過ごすことができました

・2回目ともなると、多少、自信が出てきたのか声も出てる。バンド編成も増えて、曲がはっきりしてきた。※しかるに相変わらずあわててる、「曲」が「歌」が走る、おちついて演奏してみると、もう少しカッコ良く聞こえる？

そんな嬉しい効果があったとは！お父さんの為にも♥若返って益々イケイケ綺麗なお母さんになって下さいね！

誰しも前向き思考が難しいときがありますが、音楽は気持ちを切り替えさせてくれる不思議な力を持っていますね。私も音楽に、またみなさんの声に元気をもらって一日一日生きています

もしも誰かが救われたなら、私達も一緒に救われているはず。イベントもやりたいですが、普段の診療もPCTの活動も、誰かを勇気づけるものでありたいと思います。

チームもお父様が楽しみにしていただいているのが励みでした。朝に症状が出てかなり心配しましたが、チーム回診でプレゼント？したスタッフ用のサンタ帽子をかぶって入場され、多に士気が上がりました！

闘病、看病、介護、みなさま 本当にお疲れ様です。頭が下がります。

ハーモニカの音色よかったですね！つるぎさんへ賞賛の声多数です。特に闘病中の患者さんに勇気を運っていただきました



元気になるための病院のはずなのに、「かえって病気になる」という台詞はよく聞かれます。長く待って診察室に入っても忙しそうなお医者さんに質問もできないとか・・・でも本当は、病院に来て「あなたの人生はあなたが主人公」であるはずなんですよ。診察室を出られるとき・回診が終わるときに元気な笑顔になってもらえるよう、普段も努力していきます。

ごもっともです。素人さんの批評とは思えませんが・・・よろしければ一緒に出演しませんか？連絡お待ちしております♥

Q. PCTや病院に対して望むこと

・人間ですからつかれが出ます よく休んでくだされば良いと思います
・かん者さん達の心のよりどころだと思います！！

・全てのスタッフの方々は格段に心温かく優しい人達で家族としてはすごく安心して頼りにしています。特に緩和ケアチームの存在には120%の信頼を持ち、本当によく患者とその家族の事を考えていただける優しさにいつも感謝しております。

・緩和ケアについてもっと知り度いと思っています
・高齢化社会において益々緩和ケアは重要になります まだまだ認知されていないと思うので 周知にも力をそそいでください

ありがとうございます（確かにチョット疲れました）優しいお気遣いに甘えてよく休んで、また頑張ってみます

少し面映ゆいような賛辞ですが・・・嬉しいです。今後も、どなたからも、こういう評価をいただけるように引き続き頑張ります

はい。「とにかく治す治療」しか選択が与えられず、今を生きるつらさは放置するような医療は過去のものにしたい。そのためには場合によっては医療を受ける側も「できることはすべてやってください」と言わない勇気、賢い選択が必要です。今後も緩和ケアの精神を発信していく予定です。

それでは、またお目にかかる日まで・・・本当にご声援ありがとうございました！